土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 矢多田川外　河川災害復旧事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名 矢多田川外　河川災害復旧事業に伴う業務委託

調査目的及び調査対象 道路 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	R2-Bor.No.1	**調査位置**	府中市上下町階見			**北緯**	34° 41′ 40.52″
発注機関	広島県東部建設事務所　工務第二課			**調査期間**	2020年 10月 30日 ～ 2020年 11月 10日	**東経**	133° 10′ 19.59″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 38.03m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 45°
総削孔長	7.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦DO型
							エンジン ヤンマーNFD10　**ポンプ** 東邦 BG-3型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	37.93	0.10		コンクリート		灰				小段のコンクリート	
1				礫混じり粘土混じり砂		暗黄灰	rd3			礫径はΦ5～30mmからなる 砂は細砂を主体とする 全湧水する	
2	36.03	2.00									
	35.53	2.50		風化流紋岩		淡灰				礫～岩片状コアを呈す 軟岩Ⅰ	
3				流紋岩		灰				概ね短柱状～柱状コアを呈す コア長は5～15cmからなる 4.1m以深、亀裂多く全漏水する 5.05～5.80m破砕し、礫～岩片状コアを呈す 中角度亀裂発達し、亀裂面の傾斜角は45°である 変質している 軟岩Ⅱ	
4											
5											
6											
7	31.03	7.00									

標準貫入試験

深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	16	6	5	5	16 / 300		
1.45							
2.15	60	17	21	12	50 / 250	250	
2.40				50			
3.00		貫入不能			50 / 0		
3.00							
6.00		貫入不能			50 / 0		
6.00							

深度－N値図　0　10　20　30　40　50

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					11/2
					11/3
					11/4